

# 四谷再開発建物の権利床の入居官署

財務省理財局

# 報告事項：四谷再開発建物（CO・MO・RE 四谷）の入居官署について

四谷駅前再開発事業により国が取得する権利床の活用

## 【四谷再開発建物（CO・MO・RE 四谷）】



※UR都市機構作成  
イメージパースについては計画段階のものであり、  
変更が生じる可能性がある。

専有面積：約6,000㎡

### 〔四谷駅前地区第一種市街地再開発事業〕

施行区域全体：約24,000㎡  
建築敷地面積：約17,900㎡  
全体延床面積：約139,600㎡  
建物竣工予定：令和2年1月末  
高さ・階数：約145m・地上31階、地下3階

### 〔建物の構成〕

主要用途	事務所	商業	住宅	教育	公益
専有面積	約58,900㎡	約5,800㎡	約4,500㎡ (計60戸)	約3,500㎡	約9,500㎡

### 〔国が取得する権利床〕

事務所（YOTSUYA TOWER）のうち、13F～15F  
約 6,000 ㎡

### 入居予定官署名等

### 調整床面積

### 方法・時期

外国人共生センター（仮称）

約 4,000 ㎡

新設  
令和元年度以降

国土交通省 運輸安全委員会  
国土交通政策研究所

約 2,000 ㎡

移転  
令和元年度以降

### 新たな行政需要への対応など

（注）外国人の雇用促進等に対する支援等の施策を一括して実施するため、各機関の関係部門を集約させた拠点を設置するもの

### 新規借受けの抑制、業務の効率性の向上

（注）事故調査機関として必要な機能の確保・拡充や分散した執務室の集約による業務の効率性の向上など

# 入居官署選定の考え方

- 入居官署の選定にあたっては、庁舎等の取得等調整計画及び使用調整計画策定時の審査の考え方を踏まえつつ、以下の観点を総合的に勘案して選定を行う。

## 【入居官署選定の観点】

- ◇ 庁舎等の新規需要、分散解消、狭隘解消
- ◇ 借受庁舎の解消による借受費用の縮減
- ◇ 庁舎等の耐震性能の確保
- ◇ 再開発建物の所在地に官署が所在する必要性
- ◇ 利用者の利便性及び業務の効率性の向上
- ◇ 再開発建物竣工後の早期入居
- ◇ 再開発建物の整備方針等との調和